



**秋田発・子ども双方向  
交流プロジェクト  
中川小学校で田植え**

5月23日、中川小学校（沢屋隆世校長）で全校児童50人が田植え作業を体験しました。小学校近くの佐々木喜行さん所有の田んぼ3・5アールに泥まみれになりながら苗を植えていきました。田植えを終えた児童は、「最初は難しかったけど、だんだんうまく植えられるようになってよかった」「なかなかうまくできなかったけど楽しかった」などと感想を話していました。稲刈り後には、子ども双方向交流プロジェクト事業の一環として東京にある全国ふる里ふれあいショップ『上板橋とれたて村』で児童が実際に販売体験を行う予定です。



『型押し』をすると田んぼに基盤の目の模様ができて、苗を植える間隔の目安となります。



写真右：全校生徒総出で約1時間植え続けました。  
写真左：手に持っている苗がなくなったときは周りから苗が飛んでいきます。泥ハネ注意！

**田沢湖ロータリークラブ  
バス停にベンチ寄贈**

このほど田沢湖ロータリークラブ（会長 千葉勇）が、田沢湖病院前（羽後交通側）・商工会館前バス停にベンチを寄贈しました。会員は「私たちは職務を通じて社会奉仕活動を行っています。地域のご年配の方のバス利用の一助になればうれしい」と話し、通院利用客からは「足腰が痛いときにベンチは本当にありがたい」と感謝しています。という声が聞かれました。



ゆっくりと腰をおろしてバスを待つことができるようになりました。

**秋田県民体育大会カヌー競技兼  
ノースジャパンカップ大会  
カヌーで急流に挑む**

5月15日、生保内カヌー競技場で「秋田県民体育大会カヌー競技会」が開催されました。「ノースジャパンカップ大会」も兼ねて行われたこの大会には、地元で活動するカヌーチーム「E L K J A P A N」所属選手

の他に、青森県、岩手県からも選手が参加。選手たちは川の流れや波を読み、手にしたパドルを巧みに操りゴールを目指していました。



**清掃ボランティア  
利用している施設への恩返し**

5月14日、普段お世話になっている環境保全センターや処理場周辺を環境美化と環境保全を考えて、仙北市汚泥再処理センター利用組合（組合長 後藤悦朗）と仙北市ごみ処理センター利用組合（組合長 齊藤和男）、両施設職員も含め総勢50人が参加し、周辺道路の清掃ボランティア活動を行いました。



環境保全センターを中心に北方面（写真上）と南方面（写真下）に分かれて清掃を行いました。

**民生委員・児童委員の日  
民生児童委員クリーンアップ**

5月11日と12日、仙北市民生児童委員協議会（会長 伊東弘榮）の委員55人が「民生委員・児童委員の日」活動強化週間として、全国一斉の取り組みで、市内北野線（桜並木駐車場通り）歩道植え込みの除草と国道105号線（西木庁舎前から八津周辺）のクリーンアップを行いました。



新緑の中、委員の皆さんが北野線の除草（写真上）、国道105号線の清掃（写真下）を行いました。

**水難救助に尽力  
大沼さん・羽根川さんに感謝状**

4月20日、大沼和義さん（生保内）と羽根川裕太さん（田沢）へ水難救助功労者として秋田県水難救済会より感謝状が贈られました。平成22年12月21日、男鹿市戸賀加茂青砂で遊漁船業を営む男性が海中へ転落した釣り人を発見。磯釣り客に救助を呼びかけ、それに賛同した大沼さんと羽根川さんは、他の釣り客と溺れた方を救助し、その尽力により贈られたものです。



左から羽根川さん、大沼さん

**青い羽根募金  
水難救済活動支援のために**

青い羽根募金は日本水難救済会が水難救済事業の推進を目的として全国的に展開している事業です。秋田県でも水難事故の根絶と事故防止事業の資金として活用するため、広く呼びかけています。募金運動期間は6月1日から8月31日まで。募金箱は、環境防災課（角館庁舎）・田沢湖地域センター・西木地域センター・各出張所に設置してあります。皆さまからの青い羽根募金運動に対し深いご理解とご協力をお願いします。

